

T.J. 2016年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

地域マネジメントコースで小倉実習に参加していました。当時、特任教員としていらっしゃった福岡テンジン大学の岩永さんに師事し、学生団体「idea+（アイディアプラス）」を立ち上げました。実習を通じて出会った小倉の街で働く皆さんを講師としてお招きし、学生だけでなく社会人の方にも参加いただけるイベントを数多く企画・開催していました。

イベントの企画立案から、講師の方への登壇依頼、広報物の作成、SNSでの集客、当日の運営やファシリテーションまで一連のプロセスをすべて自分たちの手でつくり上げる経験は、まさに「ゼロから価値を生み出す」実践の場でした。キタキューマンの中の方、小倉で雑貨屋を開業された方、学校の先生など、通常の学生生活ではなかなか出会えない多くの社会人の皆さまにご協力いただき、ご縁を活かしながら挑戦を重ねられたことは、大きな財産になっています。

また、当時は小倉の「greenbird（グリーンバード）」の立ち上げにも携わりました。特定非営利活動法人としての運営に触れたことで、実習とは異なるビジネス的な視点や仕組みを学ぶことができ、活動の幅が大きく広がりました。

実習以外では軟式野球部に所属し、3年生のときにはキャプテンとして全国大会に出場することもできました。授業での学びだけでなく、実習、ゼミ、部活動など、手を挙げればいくらかでも挑戦できる環境があったからこそ、多くの経験を積み、さまざまな人とのつながりに恵まれた、非常に充実した学生生活だったと感じています。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

大学卒業後、これまで3社で経験を積んできました。

1社目では、教育研修事業を行う企業で営業職を担当し、関東圏の大学向けに「自己の探究プログラム」を提案する仕事を2年間経験しました。

より大きな組織で自分を鍛えたいと考え、2社目ではリクルートに転職。人材紹介の営業とキャリアアドバイザーを計6年間務めました。成果を出し続ける難しさに葛藤しつつも、ビジネスパーソンとして成長する貴重な経験となりました。また、九州の企業の採用支援を通じて「人が事業をつくり、成長させていく」という現場を目の当たりにしたことは、仕事の大きなやりがいでもありました。

その後、福岡・東京での転勤やライフステージの変化を経てUターンを決意し、現在は福岡でIT企業のカスタマーサクセスとして働いています。プロダクトの導入支援から活用促進、成果創出までお客様に伴走する役割で、特に九州・中四国の企業と関わりながら、生まれ育った地域に貢献できていることに大きな喜びを感じています。これまでのさまざまな環境を経験したことで、仕事を超えてつながれる多くの友人・先輩・後輩にも恵まれました。

現役生へのメッセージ

振り返ると、学生時代には多くの「挑戦の機会」があり、その機会に取り組んだ経験が今の自分を大きく支えていると感じます。自分で決めて行動する力は、社会に出てからも必ず役立つ財産になります。また、卒業して10年近くたった今も、当時の仲間や先輩とのつながりは続いており、新しい挑戦のきっかけにもなっています。ぜひ皆さんも、一歩踏み出す経験を重ね、充実した学生生活を過ごしてください。応援しています！

(2025年12月4日執筆)



「idea+（アイディアプラス）」でタンガテーブルをお借りして開催した講座の様子。喜んでもらい、学びになる講座を考えるのに日々苦悩していました。



地域創生の実習の後輩が同じ会社に入ってきたりと、学生時代の縁が社会人になってからも繋がっています。